PatientsMap

UMN Profiler β版

医師の理由記述から読み解く、アンメットニーズ分析ツール

医師が新薬を望む理由や、現在の治療に感じる課題を分類・要約・原文確認から多角的に分析
研究開発・マーケティング・メディカル部門のアンメットニーズの探索に



新薬ニーズの「理由」まで把握できていますか？

集計データの「%」だけでは、現場が新薬を渇望する臨床文脈は見えてきません。

定量データ（集計結果）の限界

【把握できること】

・新薬を望む医師の割合（%）

・疾患別のニーズの強さ（ランキング）

【直面する課題】

「有効性」「安全性」などの大まかな選択肢集計にとどまり、「具体的にどんな患者像で、何を解決する薬が求められているのか」という本質的な理由・文脈までは見えてこない。

「どの疾患にニーズがあるか」を把握するだけでは、新薬のコンセプトは定まりません。
開発の成否を分けるのは、**『既存治療の何に不満があり、医師が新薬に何を託しているのか』という臨床現場のリアルな文脈**です。

医師の理由記述（自由回答）に眠る真実

【医師が理由記述に遺した切実な声】

・「奏効後の耐性化により、その先の選択肢が尽きてしまう」

・「高齢・腎機能低下例でも、安心して継続できる薬が欲しい」

・「通院や点滴の負担を減らし、治療をあきらめさせたくない」医師が新薬に託している「真の期待」は、ここに記されている。

しかし、18万件におよぶ膨大な自由記述は、「回答数が多く全体像がつかめない」「分類・比較できない」「確認に手間がかかる」という壁により、**これまでの分析では活かしきれていませんでした。**

埋もれていた18万件の「医師の生の声」を、AIで瞬時に構造化

『UMN Profiler』は、理由記述を「分析に活かせる形」へ変換し、
勝てる新薬開発・戦略を支援します。

1. ニーズの種類と傾向を**分類**

理由記述をAIが複数のカテゴリに自動分類。どのような種類のニーズが、どの程度挙げられているかをグラフで可視化します。

2. **AI要約**で効率的に理解

医師が新薬を望む背景にある治療上の課題や要望を整理。膨大なコメント全体の論点や傾向をスピーディに把握できます。

3. 具体的な回答を**原文確認**

分類グラフや要約から即座にドリルダウン。医師の新薬への要望や処方の実態を、具体的な記述に基づいて理解できます。

【分析の3ステップ】
①「分類」で市場全体のニーズ構成比を俯瞰し、
②「AI要約」で医師たちの主な論点・背景を素早く把握した上で、
③「原文確認」で処方現場の生々しい実態を直接確かめる。

「マクロの傾向把握」から「ミクロの深い納得」までをシームレスに完結できます。

理由記述から、アンメットニーズを多角的に分析

UMN Profiler(β)は、医師の理由記述を分類・要約し、原文まで確認することで、治療上の課題や新薬への要望を多角的に把握できるツールです。

分析の流れ（例）

1. **分析対象を絞り込む**
   国/年/疾患/診療科などの条件を指定
2. **分類結果を確認**
   ニーズの種類と傾向を可視化
3. **AI要約で内容を整理**
   理由記述の主な論点をAIで把握
4. **原文を確認**
   具体的な医師コメントを探索



ニーズの全体像を把握
医師師が感じている治療上の課題を、
カテゴリ別に整理して把握。

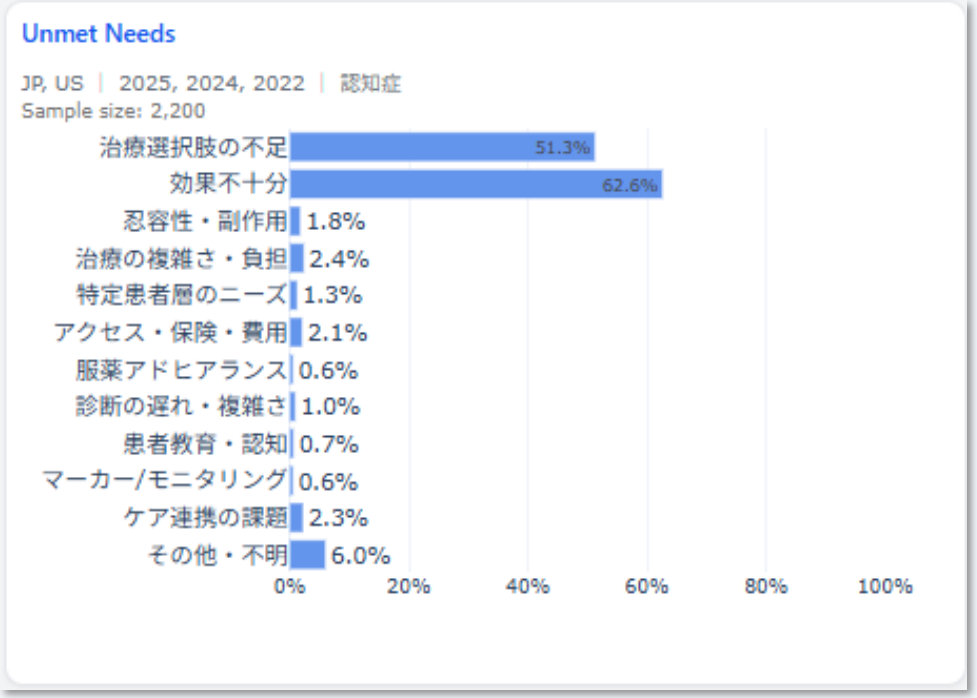
注目すべき課題を見つける
理由記述の要点を整理し、
深掘りしたいテーマを検討。

ニーズの背景を理解
医師の具体的な記述から、
課題や新薬への期待を確認。

ニーズの種類と傾向を分類

理由記述を複数のカテゴリに分類し、どのような種類のニーズが、どの程度挙げられているのかを可視化します。

ニーズ分類結果の画面イメージ



※1つの回答に複数のカテゴリが付与されるため、各カテゴリの割合の合計は100%を超える場合があります。

Point 1

多重ラベル分類

1つの回答に含まれる複数のニーズを捉えます。

Point 2

カテゴリ別に可視化

カテゴリごとの割合から、
どのようなニーズが多く挙げられているかを把握できます。

Point 3

条件を変えて比較

国・年度・疾患・診療科などの条件を指定し、
目的に応じたデータを抽出できます。

AI要約で、理由記述の内容を効率的に理解

AI要約により、医師が新薬を望む背景にある要望や治療上の課題を整理し、理由記述全体の傾向を効率的に把握できます。

AI要約の画面イメージ



Step1
記述内容の概要をつかむ

個々の回答を読む前に、
理由記述に含まれる主な論点や傾向を把握します。

Step2
分析目的に沿って要約する

確認したい観点を指定し、目的に応じた内容を整理できます。

Step3
詳細な分析につなげる

要約から注目すべき課題を見つけ、
関連する回答の確認や、さらに詳しい分析に活用できます。

医師の具体的な回答を原文確認

分類や要約の結果から元の回答を確認し、医師の新薬への要望や治療上の課題を、具体的な記述に基づいて理解できます。

医師コメント(原文) 表示イメージ



医師コメント（原文） （要約の根拠となるコメントを確認できます。副作用や製品に関する具体的な記述を含む場合があります。）

Unmet Needs グラフをクリックでコメント絞り込み。 すべてのカテゴリ 解除 コメント内を検索 コメントのみ + Enter

国	年	疾患	診療科	コメント
JP	2022	認知症	一般内科 / Internal Medicine	進行をリバースできる薬剤が欲しい
JP	2025	認知症	放射線科 / Radiology	投与条件制限のハードルが低い新薬を期待する。
JP	2022	認知症	一般内科 / Internal Medicine	世界中が望んでいる
JP	2022	認知症	循環器内科 / Cardiology	認知症の進行を遅らせることのできる薬
JP	2022	認知症	精神科 / Psychiatry	現状、ほぼ効果が期待できない。
JP	2024	認知症	神経内科 / Neurology	現状では厳密言って認知機能を改善する治療薬がない
JP	2024	認知症	一般内科 / Internal Medicine	根本的に治す薬がない。
JP	2024	認知症	一般内科 / Internal Medicine	現時点で治癒につながる薬剤がないため。
JP	2022	認知症	救急・ICU / Emergency Medicine / Critical Care	現行薬では症状の改善は得られないため

※原文コメントには副作用や製品に関する具体的な記述を含む場合があります。

Point 1

具体的な表現を把握

医師が、
どのような言葉で課題や要望を記述しているかを確認できます。

Point 2

回答を検索・抽出

条件に合う回答を探し、注目するコメントを詳しく確認できます。

Point 3

分類から原文へリンク

グラフのカテゴリから関連する回答を抽出し、
その背景にある記述を確認できます。

医師が感じる治療課題や新薬への要望を、各部門の検討に活かす

医師の理由記述から、新薬が望まれる背景や治療上の課題を把握。
研究開発、マーケティング、メディカルアフェアーズ、市場調査など、各部門の検討にご活用いただけます。

研究開発（R&D / 開発企画）

医師が感じている治療上の課題を把握し、
新薬に求められる特性や開発ニーズの探索に活用

マーケティング

疾患ごとのニーズの特徴を捉え、
製品の訴求内容や情報提供方針の検討に活用

メディカルアフェアーズ

医師が認識している治療課題を把握し、
情報提供や追加で検討すべき医学的論点の整理に活用

市場調査

理由記述に見られる傾向から、
深掘りすべきニーズや追加調査のテーマを選定

「新薬が望まれているか」だけでなく、「なぜ望まれているのか」まで理解する。

医師の理由記述データから、見えにくかったアンメットニーズを。

UMN Profiler(β) は、理由記述の分類・要約・原文確認を通じて、
医師が感じている治療上の課題や新薬への期待を多角的に把握するための分析ツールです。

分類
ニーズの種類と傾向を可視化

›

要約
理由記述の要点を整理

›

原文確認
医師の具体的な記述を確認

製品デモ・お問い合わせ

実際の画面や分析の流れをご紹介します。

✉patientsmap@ssri.com

会社概要

会社名	株式会社 社会情報サービス
設立	1982年 4月
事業内容	• 市場調査・世論調査の企画・実施・分析, データの販売 • コンピュータソフトウェアの企画・開発・販売 • アンケート・統計データなど各種のコンピュータ入力・集計（データ処理） • インターネットサーバーのホスティング、ホームページの企画・製作・運営 • データベースの作成・販売 • マーケティング・コンサルティング
資本金	2,700万円
所在地	本社: 〒162-0067 東京都新宿区富久町10-5 NMF新宿EASTビル 2F、3F
会社HP	https://www.ssri.com/

SSRI